

車載型リアルタイム振動・騒音解析システム

CompactWCA

筐体間同期機能取扱説明書

ご注意

- (1) 本書の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
- (2) 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、お買い求めの販売店または最寄りのエー・アンド・デイへご連絡ください。
- (4) 当社では、本機の運用を理由とする損失、損失利益等の請求については、前項に関わらずいかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

AND 株式会社 **エー・アンド・デイ**

1. 複数筐体同期起動（2 フロントエンド接続）の場合

（1）ホスト PC の IP アドレス設定

工場出荷時のホスト PC の IP アドレスを 192.168.0.2 から 192.168.0.11（またはそれ以降）に変更してください。

（2） cWCA の設定

2-1) ロータリースイッチ

マスターフロントエンドとする cWCA のロータリースイッチを「1」に設定します。

スレーブフロントエンドとする cWCA のロータリースイッチを「2」～「4」に設定します。

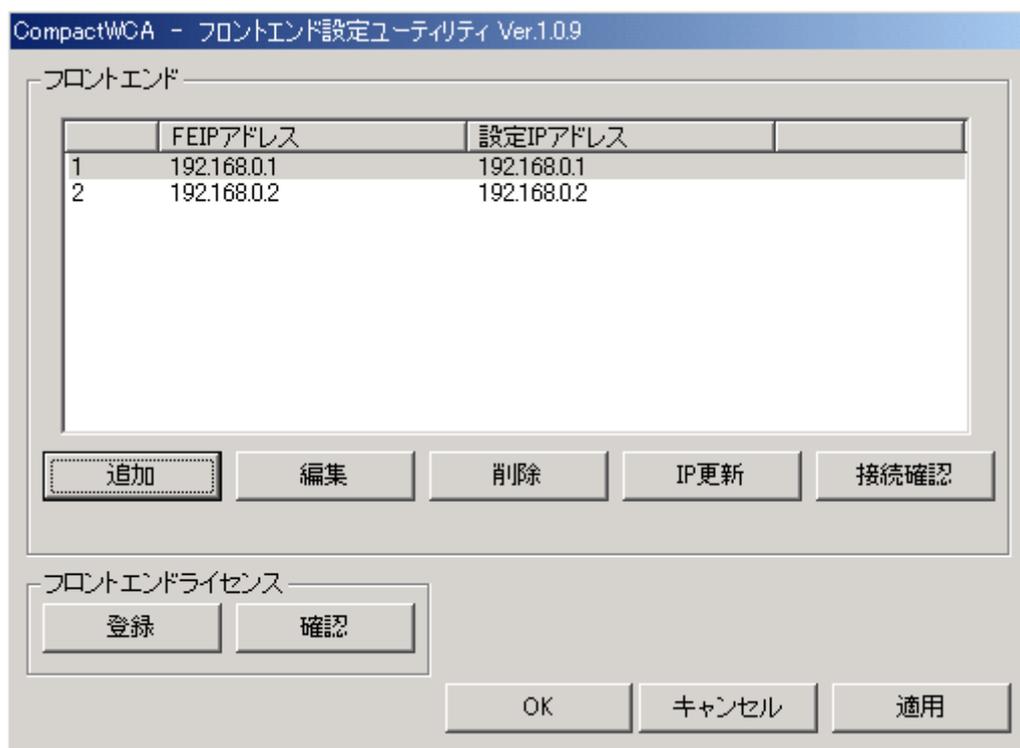
※ロータリースイッチの設定値が重なっていると、AD チャンネル数および Tach チャンネル数の認識に失敗し、WCAPRO の起動が正常に行えなくなります。各フロントエンドにユニークな値を設定してください。

2-2) IP アドレス

「CompactWCA 設定ユーティリティ」を用いて、スレーブフロントエンドとする cWCA の IP アドレスを 192.168.0.2～192.168.0.4 に設定します。マスターフロントエンドとする cWCA の IP アドレスは 192.168.0.1 のままです。下図のように、マスターフロントエンドとする cWCA の IP アドレスを 1 番目に設定します。

設定例)

マスターフロントエンド	ロータリースイッチ=1	192.168.0.1
スレーブフロントエンド 2	ロータリースイッチ=2	192.168.0.2



(3) 配線

3-1) 同期ケーブル (赤)

同期ケーブル (赤) を下記のように接続します。

マスターフロントエンド Sync OUT-1 <--> マスターフロントエンド Sync IN
 マスターフロントエンド Sync OUT-2 <--> スレーブフロントエンド 2 Sync IN

※ 同期ケーブルの長さは同じ物を使用すること

3-2) LAN ケーブル

ホスト PC および全 cWCA フロントエンドの LAN ケーブルを HUB に接続します。

HUB <--> ホスト PC
 HUB <--> マスターフロントエンド
 HUB <--> スレーブフロントエンド ...

(4) 最大チャンネル数の設定

WCAFamily 環境設定ユーティリティ (C:\¥Program Files¥AND¥Common Files¥SV¥WCA¥EnvSetup¥WCAEnvSetup.exe) を起動し、最大チャンネル数に AD チャンネル数 + EXT/Tach チャンネル数 よりも大きな 8 の倍数を設定します。

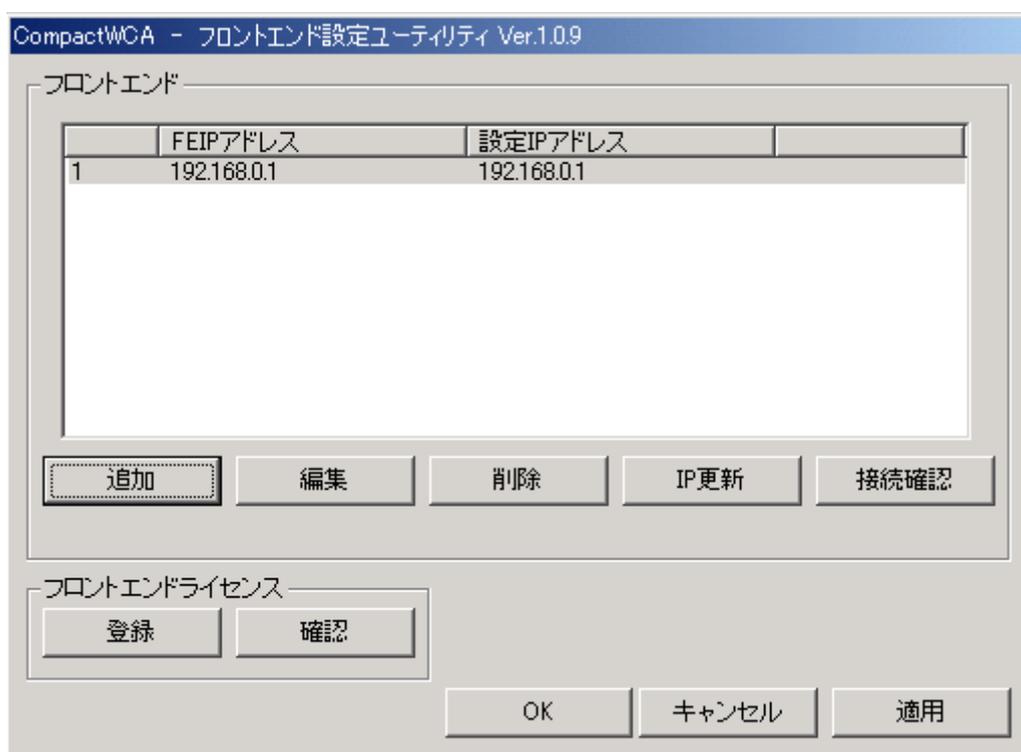
設定例)

(AD チャンネル数 16 + EXT/Tach チャンネル数 1) × 2 フロントエンド の場合、
合計チャンネル数は 34 となるので、最大チャンネル数には 40 を設定します。

2. 単独起動 (16ch 構成以下) の場合

「CompactWCA 設定ユーティリティ」で、使用したい cWCA の IP アドレス (192.168.0.1
～192.168.0.4 のいずれか一台) を残し、それ以外の登録された IP アドレスを「削除」し
ます。(下図参照)

単独起動の場合、ロータリースイッチの設定は無視されますので、「2」～「4」のままでも
構いません。



※ 使用しない cWCA の IP アドレスを「削除」しないでも、単独起動は行えます。ただし、
起動処理の時間がフロントエンドの検索・タイムアウト待ちの分だけ増加します。

以上